

**第2次南丹市環境基本計画
アンケート調査結果報告書
(事業者編)**

**令和2年●月
南丹市**

目 次

I	調査の概要.....	1
II	調査結果の概要.....	2
III	調査結果.....	4
1	回答者の属性.....	4
2	環境への取組について.....	5
3	環境への影響や環境保全に対する考えについて.....	7
4	設備の導入状況.....	12
5	今後5年間で可能と考えられるエネルギー消費量の削減率.....	13
IV	資料編.....	14
1	自由意見.....	14
2	調査票.....	15

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、市民・事業者・小中学生を対象に、環境に関する意識調査を実施し、地域で解決を目指すための課題を洗い出すとともに、今後の環境施策推進の基礎資料とすることを目的に実施しました。

2 調査の概要

事業者の調査概要は、以下のとおりです。

<事業者>

調査対象	市内の事業者から無作為に抽出した 100 社
調査時期	令和元(2019)年 11 月 18 日～12 月 2 日
配布回収方法	郵送
配布数	100 通
回収数	59 通
回収率	59.0%

3 集計表記について

- ・ 図表に示されている割合は、小数第 2 位を四捨五入して表記しているため、割合の合計が 100%にならないことがあります。
- ・ 本文や図表等の選択肢や回答の表記は、場合により語句を簡略化しています。

II 調査結果の概要

＜回答者の属性について＞

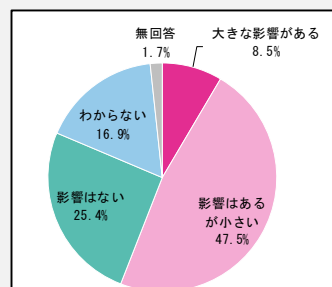
- ・業種は、卸売・小売業が最も高く 57.6%で、次いで建設業が 13.6%と高くなっています。
- ・従業員数は、9 人以下が最も高く 74.6%で、次いで 10～49 人が 22.0%と高くなっています。
- ・延べ床面積は、30m² 以上 100m² 未満が最も高く 33.9%で、次いで 30m² 未満が 18.6%と高くなっています。

＜環境への取組について＞

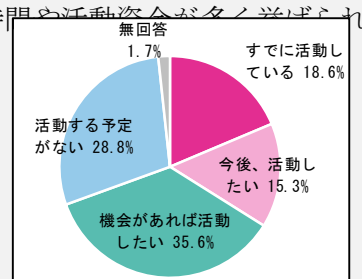
- ・「実施している」「ある程度実施している」の割合が高い項目は、「事業所内におけるごみの分別・減量を行っている」となっており、回答者の大半が実施しています。
- ・一方、「実施する予定はない」の割合が高い項目は、「防災訓練を定期的に行っている」「事業所敷地内の緑化推進」「避難ルート等を確認し、マップ等を作成している」となっています。

＜環境への影響や環境保全に対する考えについて＞

- ・事業活動が地域の環境に与える影響について、影響はあるが小さいと考えている回答者が約半数となっています。
- ・影響を与えているものについて、レジ袋や包装の使用が最も高く回答者の 49.2%が選択しており、次いで排煙や自動車の排気ガスによる大気汚染が 30.5%と高くなっています。
- ・環境保全に取り組む上で、課題や問題となることとして、設備投資などのコストが多く挙げられています。
- ・既に活動している内容について、「過剰包装を自粛する」「廃食用油や資源物の回収などリサイクル活動への協力」「まちの緑化活動、美化活動への参加」が多くなっています。
- ・活動を実施するにあたって課題となっていることでは、活動時間や活動資金が不足していることが多く挙げられています。
- ・ほかの団体等との連携した環境保全活動について、すでに活動しているが約 2 割を占めています。
- ・連携している団体としては、府や市などの自治体や自治会、学校などの教育機関が大半を占めています。また、連携して行っている活動の内容としては、大半が清掃美化活動となっています。



【事業活動が地域の環境に与える影響】



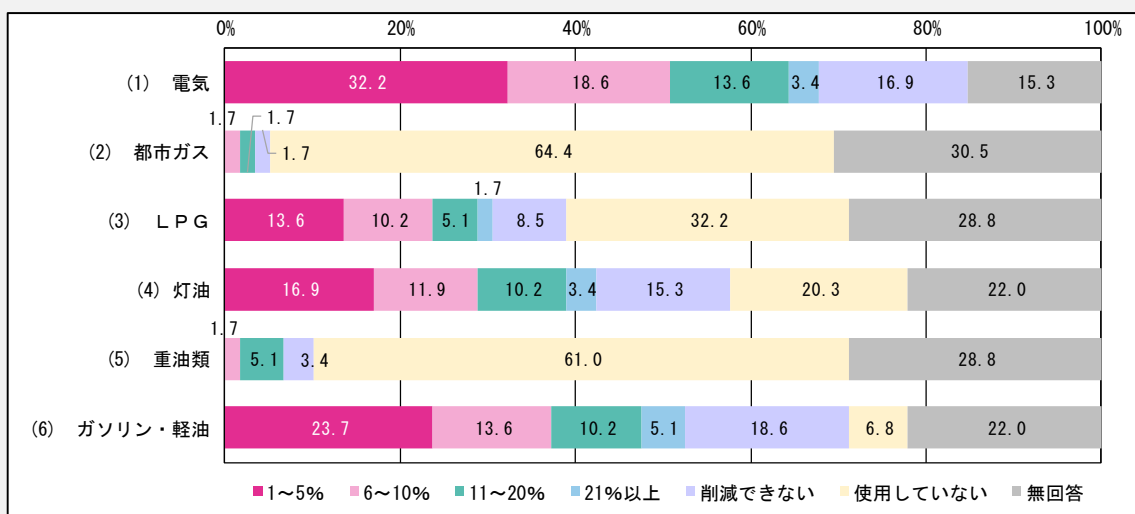
【ほかの団体等と連携した環境保全活動】

<設備の導入状況>

- ・既に導入している割合の高い設備は、LED照明となっており、回答者の半数が導入しています。
- ・予定はないが導入意欲の高い設備は、ハイブリッド自動車や電気自動車となっています。
- ・導入するつもりはない割合の高い設備は、ペレットボイラーとなっています。

<今後5年間で可能と考えられるエネルギー消費量の削減率>

- ・多くの回答者が使用している電気、ガソリン・軽油については、今後5年間で1～5%程度の削減が可能という回答が多くなっています。
- ・都市ガスやLPG、灯油、重油類は使用していない回答者が多いものの、使用しているところでは、1～5%程度の削減が可能という回答が多い傾向にあります。



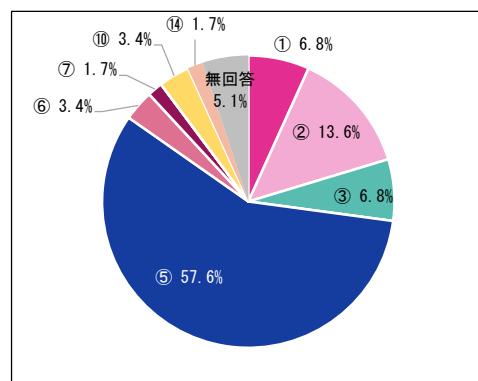
【今後5年間で可能と考えられるエネルギー消費量の削減率】

Ⅲ 調査結果

1 回答者の属性

1) 業種

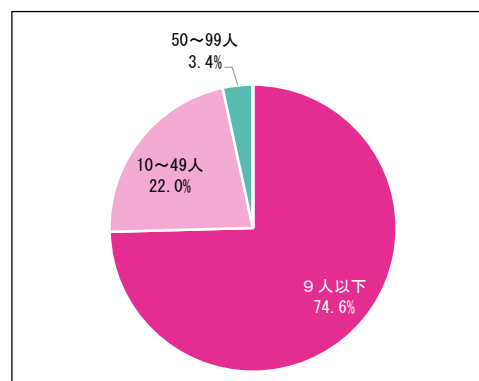
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 農林水産業	4	6.8%
② 建設業	8	13.6%
③ 製造業	4	6.8%
④ 不動産業	0	0.0%
⑤ 卸売・小売業	34	57.6%
⑥ 飲食・宿泊業	2	3.4%
⑦ 金融・保険業	1	1.7%
⑧ 医療・福祉業	0	0.0%
⑨ 教育・学習支援業	0	0.0%
⑩ サービス業（他に分類されない）	2	3.4%
⑪ 運送業	0	0.0%
⑫ 情報・通信業	0	0.0%
⑬ 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0%
⑭ その他	1	1.7%
無回答	3	5.1%
合計	59	100.0%



・「卸売・小売業」が最も高く 57.6%で、次いで「建設業」が 13.6%と高くなっています。

2) 従業員数

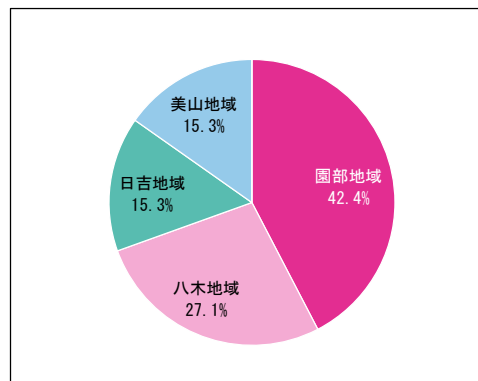
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 9人以下	44	74.6%
② 10~49人	13	22.0%
③ 50~99人	2	3.4%
④ 100~199人	0	0.0%
⑤ 200~299人	0	0.0%
⑥ 300人以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	59	100.0%



・「9人以下」が最も高く 74.6%で、次いで「10~49人」が 22.0%と高くなっています。

3) 所在地

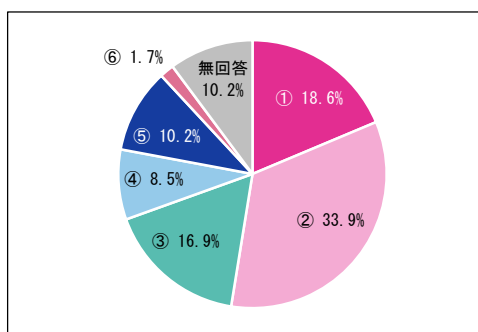
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 園部地域	25	42.4%
② 八木地域	16	27.1%
③ 日吉地域	9	15.3%
④ 美山地域	9	15.3%
無回答	0	0.0%
合計	59	100.0%



・「園部地域」が最も高く 42.4%で、次いで「八木地域」が 27.1%と高くなっています。

4) 延べ床面積（事業所部分）

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 30㎡未満	11	18.6%
② 30㎡以上100㎡未満	20	33.9%
③ 100㎡以上300㎡未満	10	16.9%
④ 300㎡以上1,000㎡未満	5	8.5%
⑤ 1,000㎡以上3,000㎡未満	6	10.2%
⑥ 3,000㎡以上	1	1.7%
無回答	6	10.2%
合計	59	100.0%

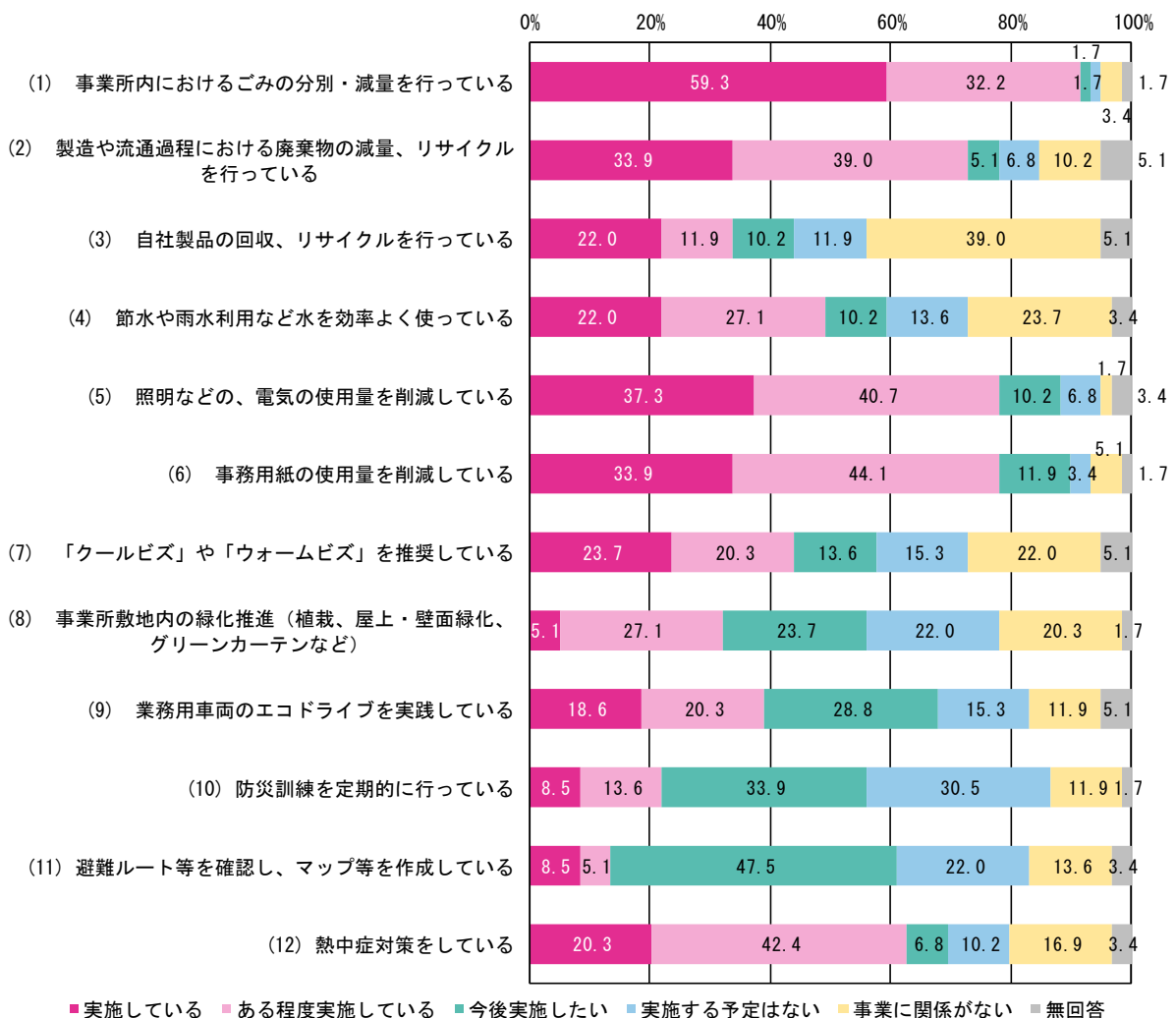


・「30㎡以上 100㎡ 未満」が最も高く 33.9%で、次いで「30㎡ 未満」が 18.6%と高くなっています。

2 環境への取組について

1) 最も重要であるとする環境問題

	実施している	ある程度実施している	今後実施したい	実施する予定はない	事業に関係がない	無回答	合計
(1) 事業所内におけるごみの分別・減量を行っている	35	19	1	1	2	1	59
(2) 製造や流通過程における廃棄物の減量、リサイクルを行っている	20	23	3	4	6	3	59
(3) 自社製品の回収、リサイクルを行っている	13	7	6	7	23	3	59
(4) 節水や雨水利用など水を効率よく使っている	13	16	6	8	14	2	59
(5) 照明などの、電気の使用量を削減している	22	24	6	4	1	2	59
(6) 事務用紙の使用量を削減している	20	26	7	2	3	1	59
(7) 「クールビズ」や「ウォームビズ」を推奨している	14	12	8	9	13	3	59
(8) 事業所敷地内の緑化推進（植栽、屋上・壁面緑化、グリーンカーテンなど）	3	16	14	13	12	1	59
(9) 業務用車両のエコドライブを実践している	11	12	17	9	7	3	59
(10) 防災訓練を定期的に行っている	5	8	20	18	7	1	59
(11) 避難ルート等を確認し、マップ等を作成している	5	3	28	13	8	2	59
(12) 熱中症対策をしている	12	25	4	6	10	2	59

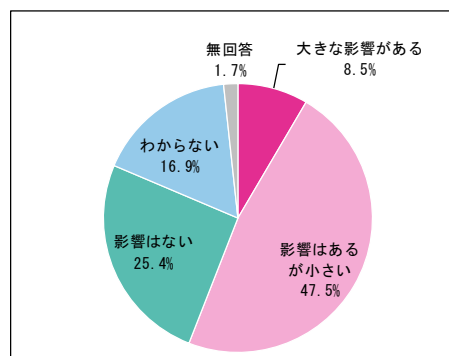


- ・「実施している」「ある程度実施している」の割合が高い項目は、「(1) 事業所内におけるごみの分別・減量を行っている」となっており、回答者の大半が実施しています。
- ・一方、「実施する予定はない」の割合が高い項目は、「(10) 防災訓練を定期的に行っている」「(8) 事業所敷地内の緑化推進」「(11) 避難ルート等を確認し、マップ等を作成している」となっています。
- ・その他実施している取組として、「廃材（木材）を冬場のストーブの燃料として使用」「レジ袋の使用を控えるようPR」「ペットボトルキャップの回収」が挙げられています。

3 環境への影響や環境保全に対する考えについて

1) 事業活動が地域の環境に与える影響

選択肢	回答者数	割合 (%)
① 大きな影響がある	5	8.5%
② 影響はあるが小さい	28	47.5%
③ 影響はない	15	25.4%
④ わからない	10	16.9%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

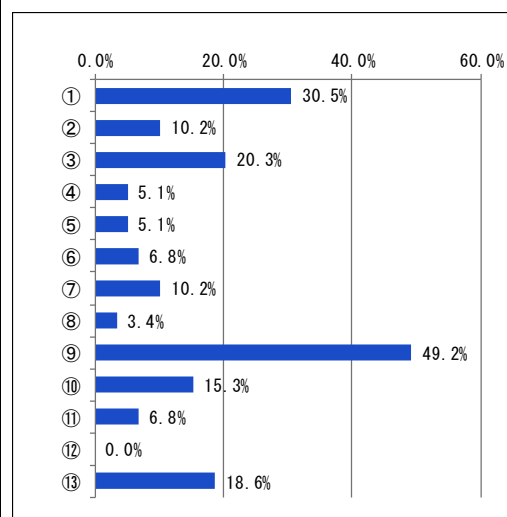


・「影響はあるが小さい」が最も高く 47.5%で、次いで「影響はない」が 25.4%と高くなっています。

2) 貴事業所が提供する製品や事業活動において、環境に影響を与えていると思うもの

(複数回答)

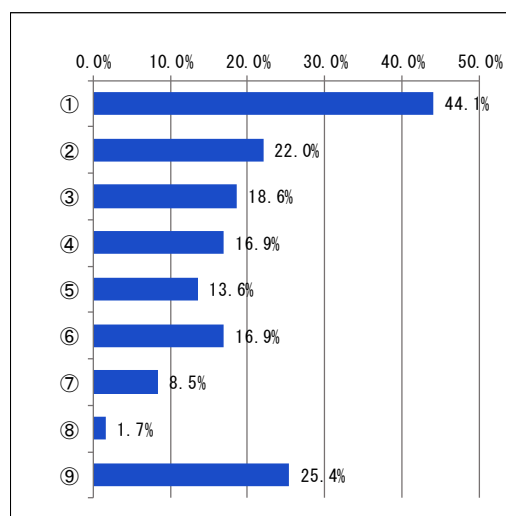
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 排煙や自動車の排気ガスによる大気汚染	18	30.5%
② 排水による水質汚濁	6	10.2%
③ 騒音や振動の発生	12	20.3%
④ 悪臭の発生	3	5.1%
⑤ 有害化学物質による土壌汚染	3	5.1%
⑥ 大量の廃棄物の発生	4	6.8%
⑦ 森林伐採	6	10.2%
⑧ オゾン層の破壊	2	3.4%
⑨ レジ袋や包装の使用	29	49.2%
⑩ 食品ロスの発生	9	15.3%
⑪ ガス等の使用による温室効果ガスの排出	4	6.8%
⑫ その他	0	0.0%
⑬ どれにも該当しない	11	18.6%
無回答	2	3.4%
合計	109	-



・「レジ袋や包装の使用」が最も高く回答者の 49.2%が選択しており、次いで「排煙や自動車の排気ガスによる大気汚染」が 30.5%と高くなっています。

3) 環境保全に取り組む上で、課題や問題となること (複数回答)

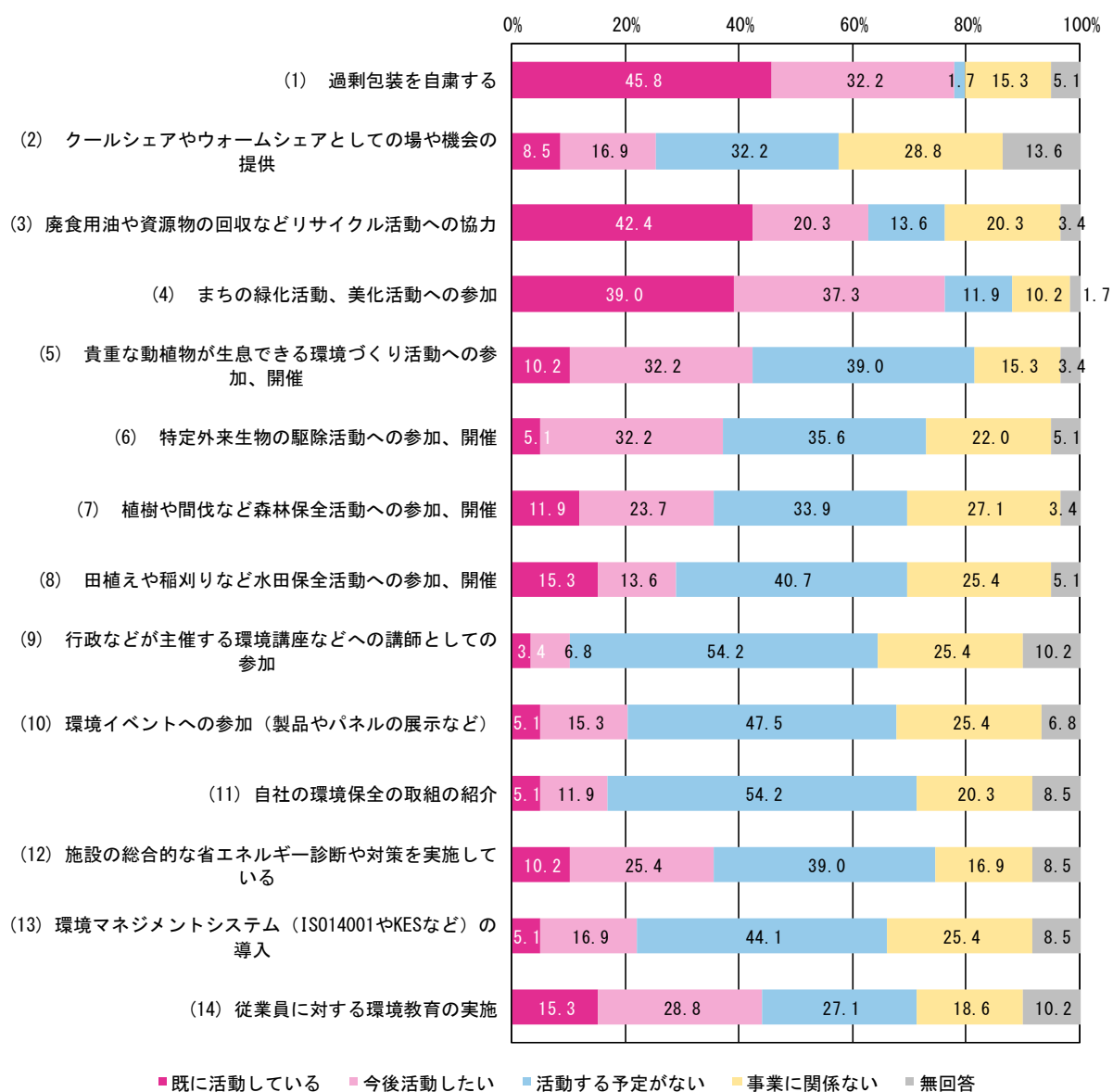
選択肢	回答者数	割合(%)
① 設備投資などのコストがかかる	26	44.1%
② 環境に関する規制や制度についての情報が不足している	13	22.0%
③ 環境保全対策を行うための知識や技術が不足している	11	18.6%
④ 環境保全よりも、他に優先しなければならないことがある	10	16.9%
⑤ 手間が多くなり、従業員の協力が得られない	8	13.6%
⑥ 取組によって商品の値段が上がった場合、取引先などの理解が得られない	10	16.9%
⑦ 環境保全に向けて何に取り組めばよいかわからない	5	8.5%
⑧ その他	1	1.7%
⑨ 特に課題はない	15	25.4%
無回答	4	6.8%
合計	103	-



・「設備投資などのコストがかかる」が最も高く回答者の44.1%が選択しており、次いで「特に課題はない」が25.4%と高くなっています。

4) 既に活動している内容と今後活動したい内容

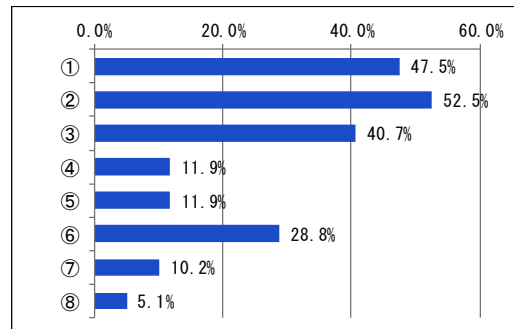
	既に活動している	今後活動したい	活動する予定がない	事業に関係ない	無回答	合計
(1) 過剰包装を自粛する	27	19	1	9	3	59
(2) クールシェアやウォームシェアとしての場や機会の提供	5	10	19	17	8	59
(3) 廃食用油や資源物の回収などリサイクル活動への協力	25	12	8	12	2	59
(4) まちの緑化活動、美化活動への参加	23	22	7	6	1	59
(5) 貴重な動植物が生息できる環境づくり活動への参加、開催	6	19	23	9	2	59
(6) 特定外来生物の駆除活動への参加、開催	3	19	21	13	3	59
(7) 植樹や間伐など森林保全活動への参加、開催	7	14	20	16	2	59
(8) 田植えや稲刈りなど水田保全活動への参加、開催	9	8	24	15	3	59
(9) 行政などが主催する環境講座などへの講師としての参加	2	4	32	15	6	59
(10) 環境イベントへの参加(製品やパネルの展示など)	3	9	28	15	4	59
(11) 自社の環境保全の取組の紹介	3	7	32	12	5	59
(12) 施設の総合的な省エネルギー診断や対策を実施している	6	15	23	10	5	59
(13) 環境マネジメントシステム(ISO14001やKESなど)の導入	3	10	26	15	5	59
(14) 従業員に対する環境教育の実施	9	17	16	11	6	59



- ・「既に活動している」の割合が高い項目は、「(1)過剰包装を自粛する」「(3)廃食用油や資源物の回収などリサイクル活動への協力」「(4)まちの緑化活動、美化活動への参加」となっており、回答者の約4割が実施しています。
- ・「今後活動したい」の割合が高い項目は、「(4)まちの緑化活動、美化活動への参加」「(1)過剰包装を自粛する」「(5)貴重な動植物が生息できる環境づくりへの参加、開催」「(6)特定外来生物の駆除活動への参加、開催」となっています。
- ・一方、「活動する予定がない」の割合が高い項目は、「(9)行政などが主催する環境講座などへの講師としての参加」「(11)自社の環境保全の取組の紹介」となっています。

5) 4) の活動を実施するにあたって、課題となっていること (複数回答)

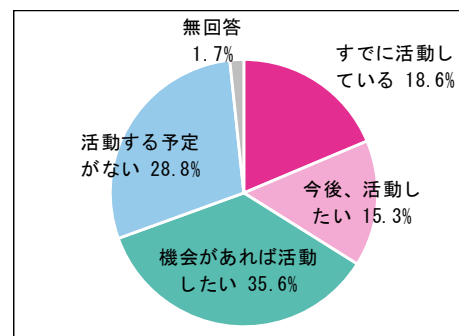
選択肢	回答者数	割合 (%)
① 活動資金	28	47.5%
② 活動時間	31	52.5%
③ 活動を担う人材	24	40.7%
④ 集客力	7	11.9%
⑤ 他団体との連携、交流機会	7	11.9%
⑥ 活動に必要な知識や技術	17	28.8%
⑦ 活動を行う機会や場	6	10.2%
⑧ その他	3	5.1%
無回答	9	15.3%
合計	132	-



- ・「活動時間」が最も高く回答者の半数が選択しており、次いで「活動資金」が47.5%と高くなっています。
- ・その他具体的な課題として、「市内に食品リサイクルを実施業者がない」が挙げられています。

6) ほかの団体等との連携した環境保全活動の実施状況

選択肢	回答者数	割合 (%)
① すでに活動している	11	18.6%
② 今後、活動したい	9	15.3%
③ 機会があれば活動したい	21	35.6%
④ 活動する予定がない	17	28.8%
無回答	1	1.7%
合計	59	100.0%

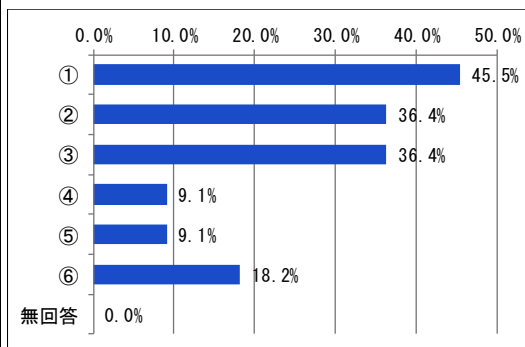


- ・「機会があれば活動したい」が最も高く35.6%で、次いで「活動する予定がない」が28.8%と高くなっています。

7) 6) で「1. すでに活動している」を選んだ事業所について、連携している団体とその活動内容（複数回答）

<連携している団体>

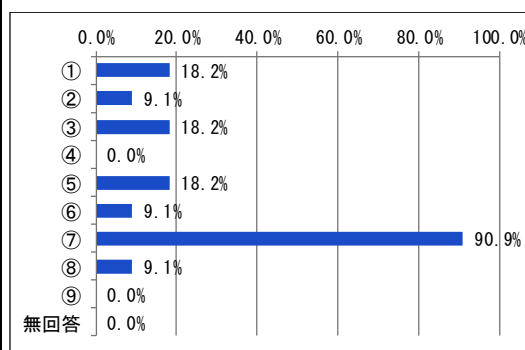
選択肢	回答者数	割合(%)
① 府や市などの自治体	5	45.5%
② 自治会	4	36.4%
③ 学校などの教育機関	4	36.4%
④ 環境保全活動団体	1	9.1%
⑤ 貴事業所以外の企業	1	9.1%
⑥ その他	2	18.2%
無回答	0	0.0%
合計	17	-



- ・「府や市などの自治体」が最も高く回答者の45.5%が選択しており、次いで「自治会」「学校などの教育機関」が36.4%と高くなっています。
- ・その他連携しているところとして「地域住民」が挙げられています。

<活動内容>

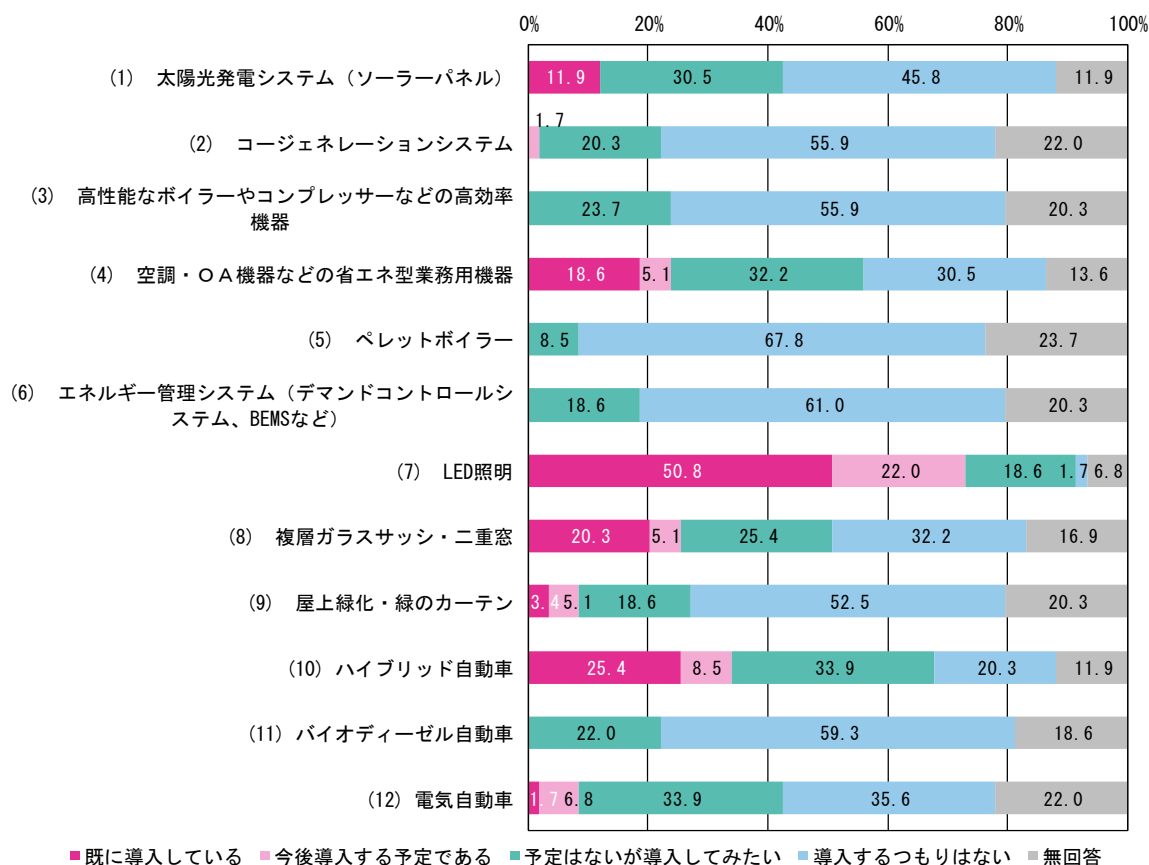
選択肢	回答者数	割合(%)
① 森林（竹林を含む）保全活動	2	18.2%
② 生物保全活動	1	9.1%
③ 水環境保全活動	2	18.2%
④ 大気保全活動	0	0.0%
⑤ 廃棄物やリサイクル活動	2	18.2%
⑥ 地球温暖化対策やエネルギーに関する活動	1	9.1%
⑦ 清掃美化活動	10	90.9%
⑧ 緑化活動	1	9.1%
⑨ その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	19	-



- ・「清掃美化活動」が最も高く回答者の大半が選択しており、次いで「森林（竹林を含む）保全活動」「水環境保全活動」「廃棄物やリサイクル活動」が18.2%と高くなっています。

4 設備の導入状況

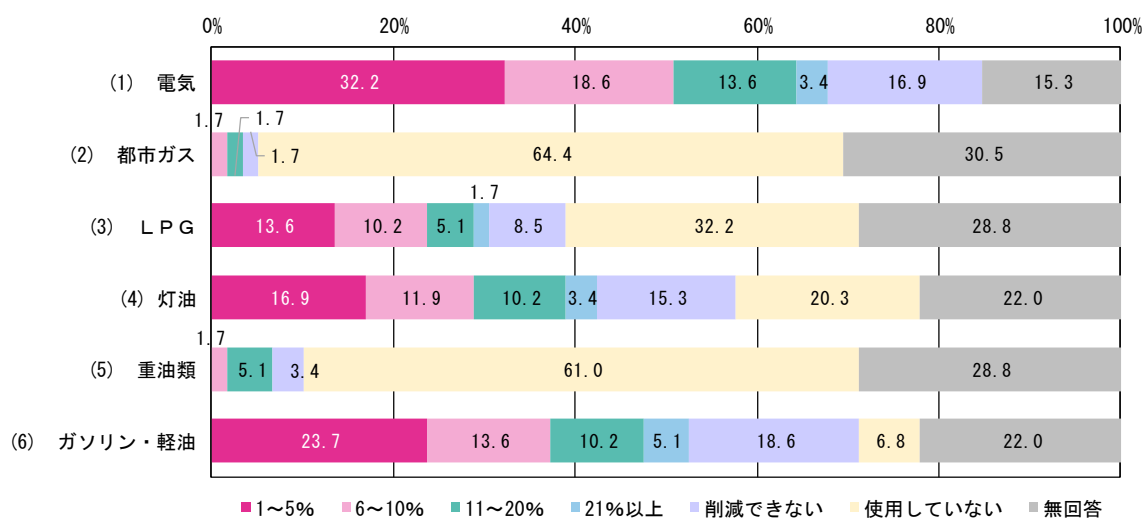
	既に導入している	今後導入する予定である	予定はないが導入してみたい	導入するつもりはない	無回答	合計
(1) 太陽光発電システム（ソーラーパネル）	7	0	18	27	7	59
(2) コージェネレーションシステム	0	1	12	33	13	59
(3) 高性能なボイラーやコンプレッサーなどの高効率機器	0	0	14	33	12	59
(4) 空調・OA機器などの省エネ型業務用機器	11	3	19	18	8	59
(5) ペレットボイラー	0	0	5	40	14	59
(6) エネルギー管理システム（デマンドコントロールシステム、BEMSなど）	0	0	11	36	12	59
(7) LED照明	30	13	11	1	4	59
(8) 複層ガラスサッシ・二重窓	12	3	15	19	10	59
(9) 屋上緑化・緑のカーテン	2	3	11	31	12	59
(10) ハイブリッド自動車	15	5	20	12	7	59
(11) バイオディーゼル自動車	0	0	13	35	11	59
(12) 電気自動車	1	4	20	21	13	59



- ・「既に導入している」の割合が高い設備は、「(7) LED 照明」となっており、回答者の半数が導入しています。
- ・「予定はないが導入してみたい」の割合が高い設備は、「(10)ハイブリッド自動車」「(12)電気自動車」となっています。
- ・一方、「導入するつもりはない」の割合が高い設備は、「(5)ペレットボイラー」となっています。

5 今後5年間で可能と考えられるエネルギー消費量の削減率

	1~5%	6~10%	11~20%	21%以上	削減できない	使用していない	無回答	合計
(1) 電気	19	11	8	2	10	0	9	59
(2) 都市ガス	0	1	1	0	1	38	18	59
(3) LPG	8	6	3	1	5	19	17	59
(4) 灯油	10	7	6	2	9	12	13	59
(5) 重油類	0	1	3	0	2	36	17	59
(6) ガソリン・軽油	14	8	6	3	11	4	13	59



- ・電気の削減率は、「1~5%」が最も高く32.2%で、次いで「6~10%」が18.6%と高くなっています。
- ・都市ガスは、「使用していない」が半数以上を占めるものの、使用している中では、「6~10%」「11~20%」「削減できない」がそれぞれ1.7%を占めています。
- ・LPGの削減率は、「使用していない」が最も高く32.2%を占めるものの、使用している中では、「1~5%」が13.6%と高くなっています。
- ・灯油の削減率は、「使用していない」が最も高く20.3%を占めるものの、使用している中では、「1~5%」が16.9%と高くなっています。
- ・重油類は、「使用していない」が半数以上を占めるものの、使用している中では、「11~20%」が5.1%と高くなっています。
- ・ガソリン・軽油の削減率は、「1~5%」が最も高く23.7%で、次いで「削減できない」が18.6%と高くなっています。

IV 資料編

1 自由意見

※環境に関連する意見について、原文通りにまとめています

<その他>

- ・アンケートを行っただけでは今後具体的にいかせないと思います。次期計画とは。気候変動への対応とは。どんな要望が出てくるのでしょうか？
- ・新しい計画書を見て出来る限り参加、協力していきたいと思います

南丹市の環境に関する市民アンケートご協力をお願い

皆様には、日頃から市政に対して、ご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。

南丹市では、平成29年に「南丹市環境基本計画」を策定し、各種施策を進めてまいりました。

近年、環境を取り巻く状況がさらに複雑化、深刻化するとともに、集中豪雨や猛暑など気候変動への対応が社会的に大きな関心となっています。また、現行の計画が令和2年度に計画期間の満了を迎えることに伴い、本市における今後の環境に関する長期的な目標や施策などを示す「第二次南丹市環境基本計画」を策定することとしております。

今回アンケート調査を実施することにより、本市の環境に関して、市内事業所の皆様のご意見、ご要望をお聞かせいただき、次期計画の基礎資料として活用させていただきたいと考えております。

つきましては、お忙しい中、お手数をおかけしますが、目的・趣旨をご理解のうえアンケートにご協力くださいますようお願いいたします。

令和元年11月

南丹市長 西村 良平

●アンケートについて

・本アンケート調査は、市内の事業所から無作為に抽出した100事業所にご回答をお願いしています。なお、調査結果は、統計的に処理を行い、個別企業を特定することはありません。

●ご記入にあたってのお願い

・お答えの中で「その他」を選んだときは、番号に○をつけていただくとともに、()内に具体的な内容をご記入いただく場合があります。

・ご記入いただいた回答票は、返信用封筒（※切手は不要です）に入れて、

12月2日（月）までに、返送くださいますようお願いいたします。

・この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

【問い合わせ先】南丹市役所 市民部 市民環境課

T E L : 0771-68-0085

F A X : 0771-63-0654

1. はじめに、貴事業所のことについておたずねします。

1) 貴事業所の業種を教えてください。(1つに○)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 農林水産業 | 2. 建設業 |
| 3. 製造業 | 4. 不動産業 |
| 5. 卸売・小売業 | 6. 飲食・宿泊業 |
| 7. 金融・保険業 | 8. 医療・福祉業 |
| 9. 教育・学習支援業 | 10. サービス業(他に分類されない) |
| 11. 運送業 | 12. 情報・通信業 |
| 13. 電気・ガス・熱供給・水道業 | |
| 14. その他(具体的に: _____) | |

2) 貴事業所の従業員(令和元年10月1日現在)は何人いらっしゃいますか。(1つに○)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 9人以下 | 2. 10~49人 |
| 3. 50~99人 | 4. 100~199人 |
| 5. 200~299人 | 6. 300人以上 |

※契約社員・派遣社員・パート・アルバイト・家族従業員等を含みます。

3) 貴事業所の所在地はどこですか。(1つに○)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 園部地域 | 2. 八木地域 | 3. 日吉地域 | 4. 美山地域 |
|---------|---------|---------|---------|

4) 貴事業所の延べ床面積(事業所部分)をご記入ください。(1つに○)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 30㎡未満 | 2. 30㎡以上100㎡未満 |
| 3. 100㎡以上300㎡未満 | 4. 300㎡以上1,000㎡未満 |
| 5. 1,000㎡以上3,000㎡未満 | 6. 3,000㎡以上 |

2. 貴事業所の環境への取組についておたずねします。

1) 貴事業所では、環境に配慮した取組みとしてどのようなことを行っていますか。それぞれの取組みについて最もあてはまるものを1～5の中から1つ選び○をつけてください。(それぞれ1つに○)

行 動 内 容	実施している	ある程度実施している	今後実施したい	実施する予定はない	事業に関係がない
●ごみ・水に関すること					
(1) 事業所内におけるごみの分別・減量を行っている	1	2	3	4	5
(2) 製造や流通過程における廃棄物の減量、リサイクルを行っている	1	2	3	4	5
(3) 自社製品の回収、リサイクルを行っている	1	2	3	4	5
(4) 節水や雨水利用など水を効率よく使っている	1	2	3	4	5
●地球温暖化対策に関すること					
(5) 照明などの、電気の使用量を削減している	1	2	3	4	5
(6) 事務用紙の使用量を削減している	1	2	3	4	5
(7) 「クールビズ」や「ウォームビズ」を推奨している	1	2	3	4	5
(8) 事業所敷地内の緑化推進(植栽、屋上・壁面緑化、グリーンカーテンなど)	1	2	3	4	5
(9) 業務用車両のエコドライブを実践している	1	2	3	4	5
(10) 防災訓練を定期的に行っている	1	2	3	4	5
(11) 避難ルート等を確認し、マップ等を作成している	1	2	3	4	5
(12) 熱中症対策をしている	1	2	3	4	5
●その他					
自由回答：上記以外で取り組んでいることがあればお書きください。					

3. 環境への影響や環境保全に対するお考えについておたずねします。

1) 貴事業所の事業活動が、地域の環境に与える影響はどの程度であるとお考えですか。

(1つに○)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 大きな影響がある | 2. 影響はあるが小さい |
| 3. 影響はない | 4. わからない |

2) 貴事業所が提供する製品や事業活動において、環境に影響を与えていると思うものすべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 排煙や自動車の排気ガスによる大気汚染 | 2. 排水による水質汚濁 |
| 3. 騒音や振動の発生 | 4. 悪臭の発生 |
| 5. 有害化学物質による土壌汚染 | 6. 大量の廃棄物の発生 |
| 7. 森林伐採 | 8. オゾン層の破壊 |
| 9. レジ袋や包装の使用 | 10. 食品ロスの発生 |
| 11. ガス等の使用による温室効果ガスの排出 | |
| 12. その他 () | |
| 13. どれにも該当しない | |

3) 貴事業所で環境保全に取り組む上で、課題や問題となることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--------------------------------------|
| 1. 設備投資などのコストがかかる |
| 2. 環境に関する規制や制度についての情報が不足している |
| 3. 環境保全対策を行うための知識や技術が不足している |
| 4. 環境保全よりも、他に優先しなければならないことがある |
| 5. 手間が多くなり、従業員の協力が得られない |
| 6. 取組によって商品の値段が上がった場合、取引先などの理解が得られない |
| 7. 環境保全に向けて何に取り組めばよいかわからない |
| 8. その他 () |
| 9. 特に課題はない |

4) 貴事業所が既に活動している内容と今後活動したい内容について、もっともあてはまる1～3の番号をそれぞれ1つ選び、○をつけてください。

(それぞれ1つに○)

活動の内容	既に活動している	今後活動したい	活動する予定がない	事業に関係がない
(1) 過剰包装を自粛する	1	2	3	4
(2) クールシェア ^{※1} やウォームシェア ^{※1} としての場や機会の提供	1	2	3	4
(3) 廃食用油や資源物の回収などリサイクル活動への協力	1	2	3	4
(4) まちの緑化活動、美化活動への参加	1	2	3	4
(5) 貴重な動植物が生息できる環境づくり活動への参加、開催	1	2	3	4
(6) 特定外来生物の駆除活動への参加、開催	1	2	3	4
(7) 植樹や間伐など森林保全活動への参加、開催	1	2	3	4
(8) 田植えや稲刈りなど水田保全活動への参加、開催	1	2	3	4
(9) 行政などが主催する環境講座などへの講師としての参加	1	2	3	4
(10) 環境イベントへの参加（製品やパネルの展示など）	1	2	3	4
(11) 自社の環境保全の取組の紹介	1	2	3	4
(12) 施設の総合的な省エネルギー診断や対策を実施している	1	2	3	4
(13) 環境マネジメントシステム（ISO14001 ^{※2} やKES ^{※3} など）の導入	1	2	3	4
(14) 従業員に対する環境教育の実施	1	2	3	4
(15) その他（ ）	1	2	3	4

※1：自宅のエアコンを止めて、店舗などの身近な場所に個人が気軽に集まり、涼んだり暖まったりすること

※2：国際標準化機構（ISO）が発行した環境マネジメントシステムに関する国際規格

※3：「京のアジェンダ21フォーラム」により策定されたもので、NPO法人KES環境機構が実施している中小企業なども導入しやすい簡易版環境マネジメントシステム

- 5) 4) の活動を実施するにあたって、課題となっていることは何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1. 活動資金 | 2. 活動時間 |
| 3. 活動を担う人材 | 4. 集客力 |
| 5. 他団体との連携、交流機会 | 6. 活動に必要な知識や技術 |
| 7. 活動を行う機会や場 | 8. その他 () |

※具体的な課題や要望がありましたらご記入ください。

- 6) 地域の環境を保全するには市民、事業者、市の連携した取組や活動が必要となります。貴事業所では、ほかの団体等との連携した環境保全活動を行っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------------|--------------|
| 1. すでに活動している | 2. 今後、活動したい |
| 3. 機会があれば活動したい | 4. 活動する予定がない |

- 7) 6) で「1. すでに活動している」を選んだ方にお聞きします。連携している団体とその活動内容についてあてはまるものすべてに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

【連携している団体】

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 府や市などの自治体 | 2. 自治会 |
| 3. 学校などの教育機関 | 4. 環境保全活動団体 |
| 5. 貴事業所以外の企業 | 6. その他 () |

【活動内容】

- | | |
|------------------|------------------------|
| 1. 森林(竹林を含む)保全活動 | 2. 生物保全活動 |
| 3. 水環境保全活動 | 4. 大気保全活動 |
| 5. 廃棄物やリサイクル活動 | 6. 地球温暖化対策やエネルギーに関する活動 |
| 7. 清掃美化活動 | 8. 緑化活動 |
| 9. その他(具体的に:) | |

4. 貴事業所での、設備の導入状況についておたずねします。

- 1) 貴事業所において、今後、次のような環境に配慮した設備を導入する予定はありますか。それぞれの設備について、貴事業所の状況に最もあてはまる番号を1～4から1つ選び、○をつけてください。(それぞれ1つに○)

設備	既に導入している	今後導入する予定である	予定はないが導入してみたい	導入するつもりはない
(1) 太陽光発電システム(ソーラーパネル)	1	2	3	4
(2) コージェネレーションシステム ^{※1}	1	2	3	4
(3) 高性能なボイラーやコンプレッサーなどの高効率機器	1	2	3	4
(4) 空調・OA機器などの省エネ型業務用機器	1	2	3	4
(5) ペレットボイラー	1	2	3	4
(6) エネルギー管理システム(デマンドコントロールシステム ^{※2} 、BEMS ^{※3} など)	1	2	3	4
(7) LED照明	1	2	3	4
(8) 複層ガラスサッシ・二重窓 ^{※4}	1	2	3	4
(9) 屋上緑化・緑のカーテン	1	2	3	4
(10) ハイブリッド自動車	1	2	3	4
(11) バイオディーゼル自動車 ^{※5}	1	2	3	4
(12) 電気自動車	1	2	3	4
(13) 上記以外で環境に配慮した設備を導入している場合は設備名をご記入ください。				

※1: ガスを燃料として発電し、排熱を回収して給湯に利用するなど、1つのエネルギー源から電気と熱などを同時に供給する、エネルギーの利用効率が高いシステムのこと。

※2: あらかじめ目標値を設定し、需要電力が目標値を超えると予測される際に、アラームや警報などで通知するエネルギー管理システムのこと。

※3: ビルエネルギーマネジメントシステムのこと。IoTの活用により、エネルギーの使用状況をリアルタイムに表示するとともに、室内状況に応じて照明・空調等の最適な運転を行うエネルギー管理システムのこと。

※4: 断熱素材を使用したりガラスを二重にしたりすることで、断熱効果を上げ、空調の節約・節電に繋がります。

※5: 菜種油、ひまわり油などの生物由来の油や、廃食用油などからつくられるディーゼルエンジン用燃料(バイオディーゼル燃料、BDF)を燃料として使用する自動車のこと。

5. エネルギーに関する貴事業所の状況についておたずねします。

- 1) 貴事業所における電気、ガス、灯油などのエネルギー使用に関して、省エネルギーに努めることによって今後5年間で可能と考えられるエネルギー消費量の削減率について、貴事業所に最も近いものを1～6から1つ選び、○をつけてください。
(それぞれ1つに○)

種類	5年後の削減率					
	1～5%	6～10%	11～20%	21%以上	削減できない	使用していない
電 気	1	2	3	4	5	6
都 市 ガ ス	1	2	3	4	5	6
L P G	1	2	3	4	5	6
灯 油	1	2	3	4	5	6
重 油 類	1	2	3	4	5	6
ガソリン・軽油	1	2	3	4	5	6

6. その他

その他、環境についてご意見等がありましたら、ご自由にお書きください。

皆様の貴重なご意見は、今後策定していく南丹市環境基本計画および市の環境政策に反映していきたいと考えています。アンケートにご協力いただきありがとうございました。